

超高齢社会を意識していますか？

いろいろ変えないといけない食支援



photoAC

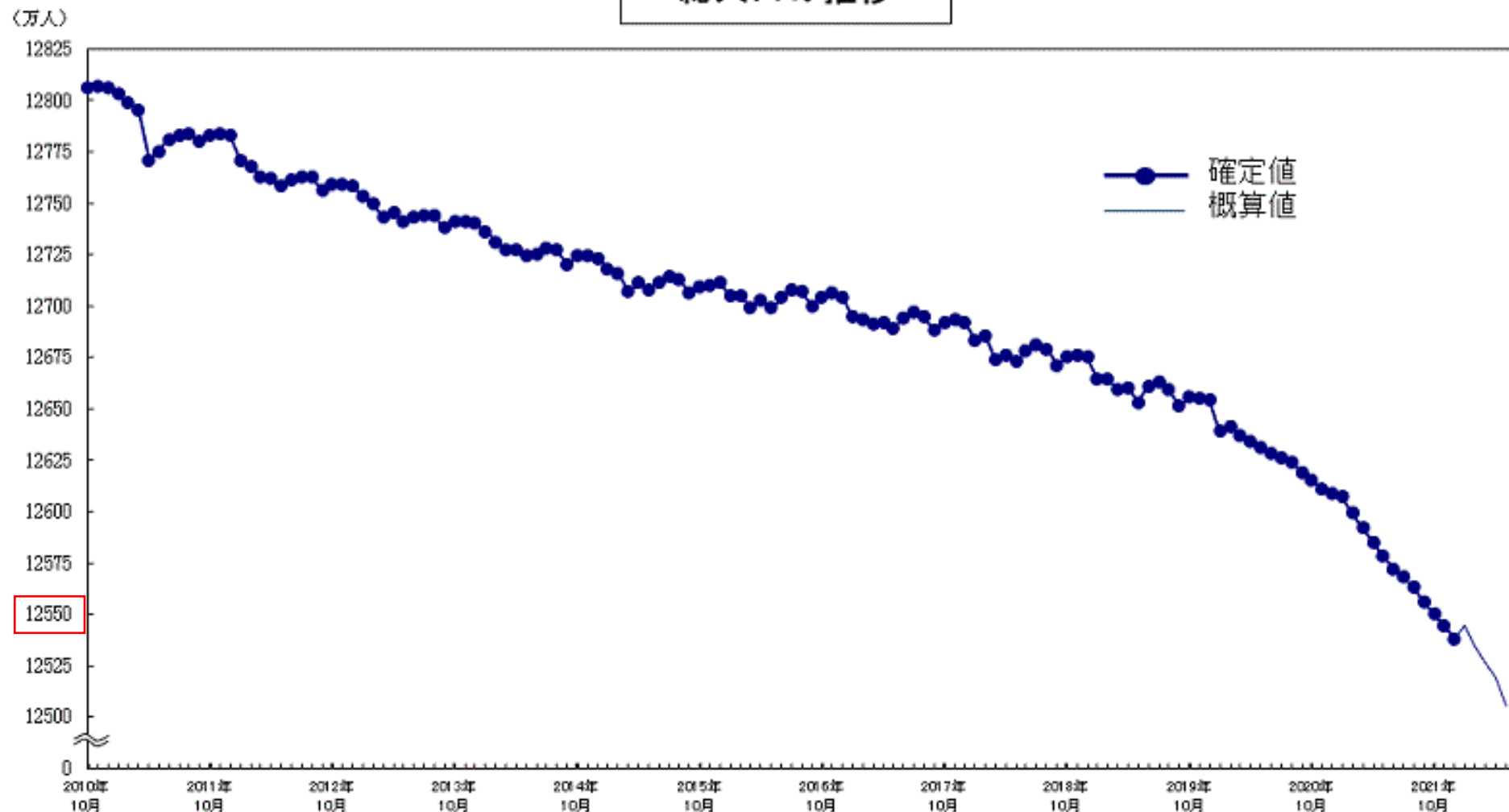


愛知学院大学
牧野日和



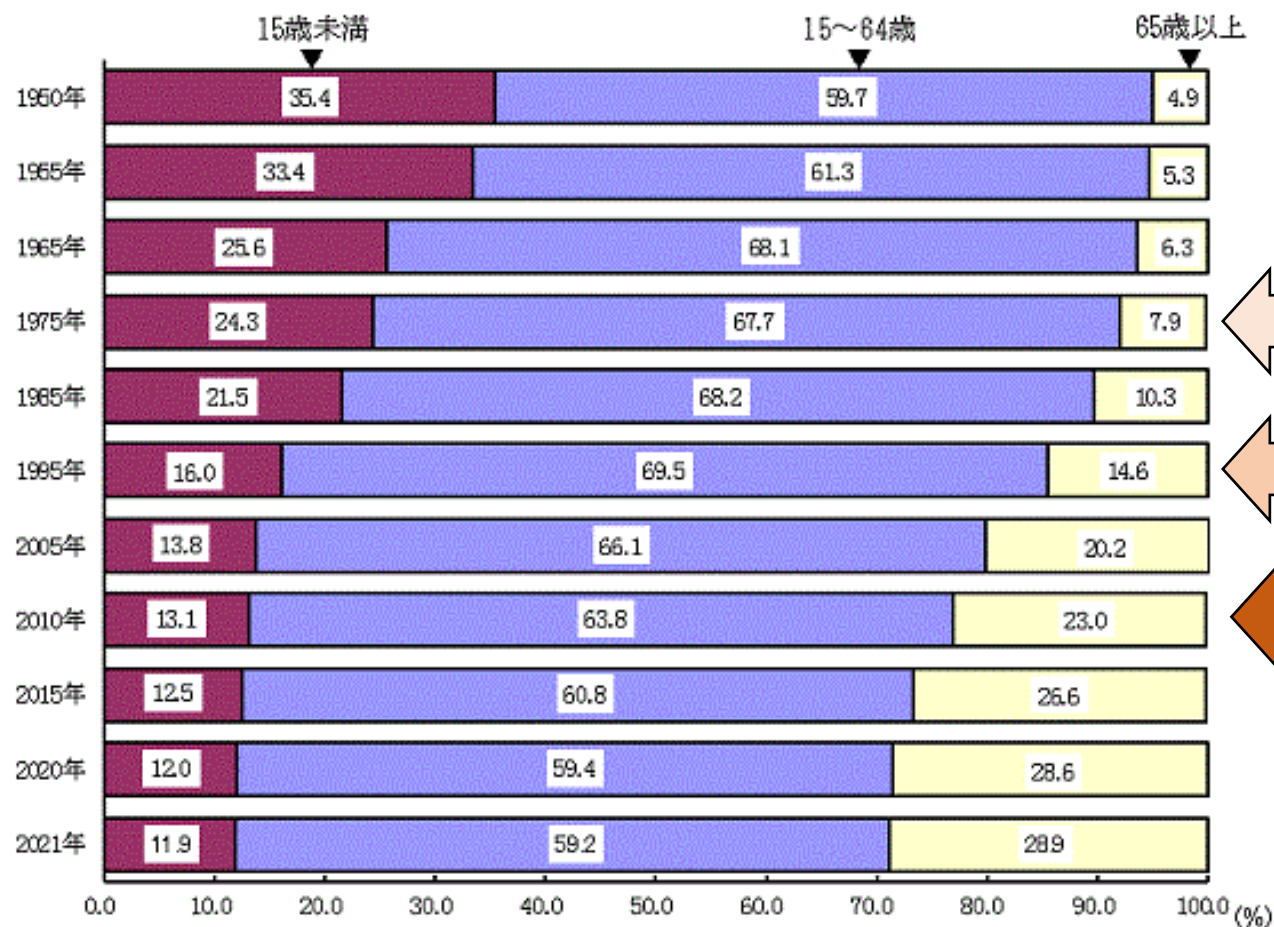
総人口減少 ここ10年で200万人超え減少

総人口の推移



日本はとっくに超高齢社会

図2 年齢3区分別人口の割合の推移

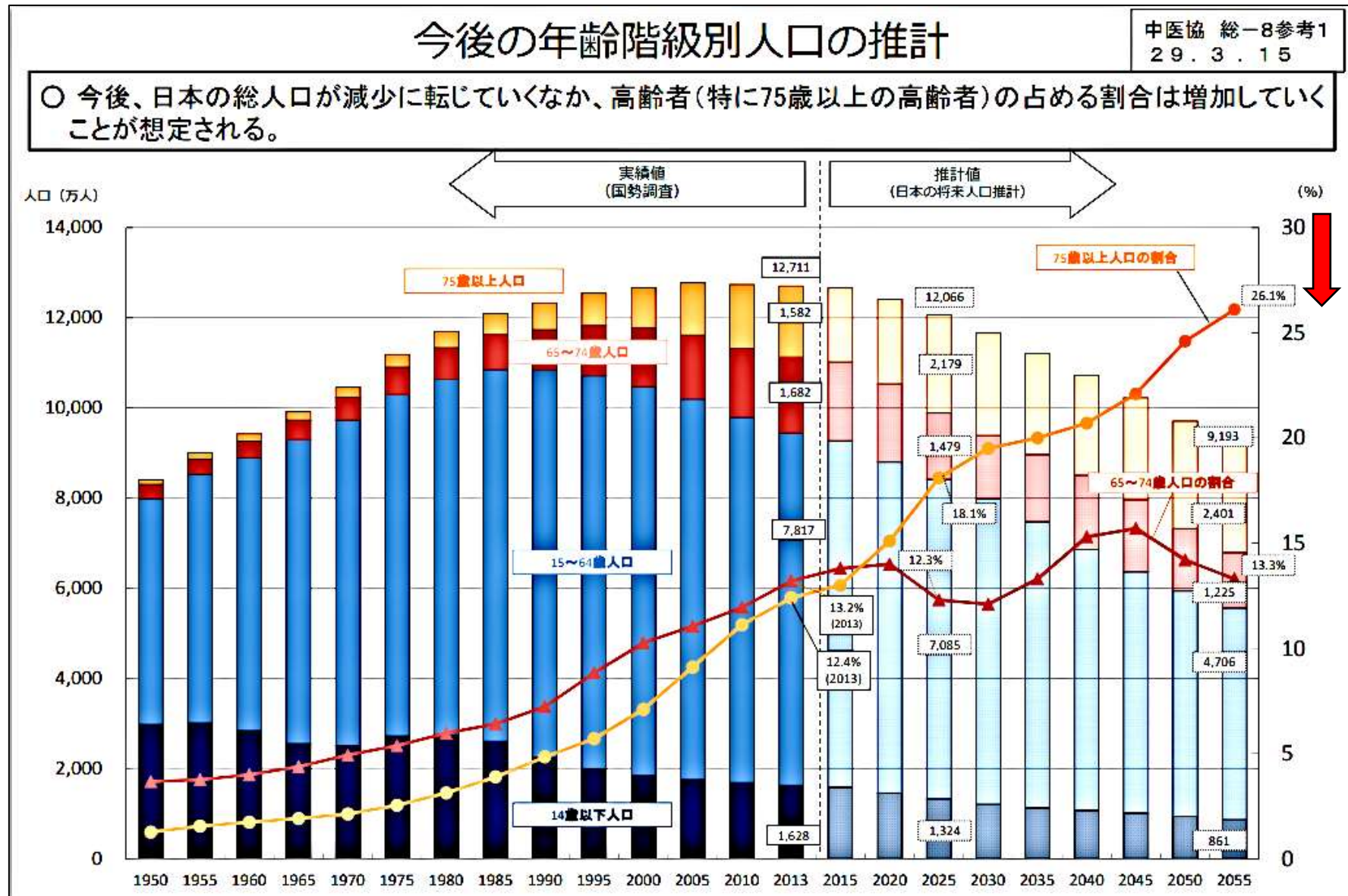


65歳比率が
高齢化社会：7%超え
高齢社会：14%超え
超高齢社会：21%超え
(WHO定義)

資料：「国勢調査」及び「人口推計」

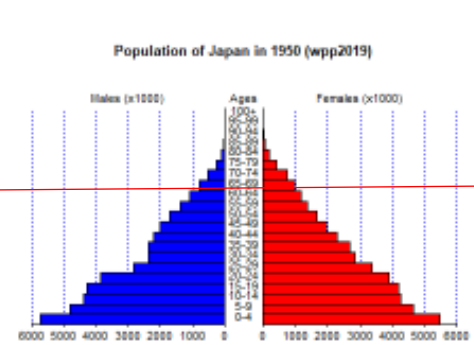
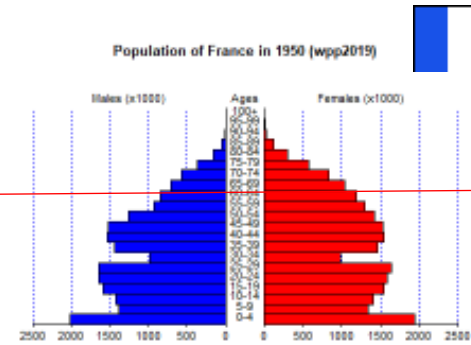
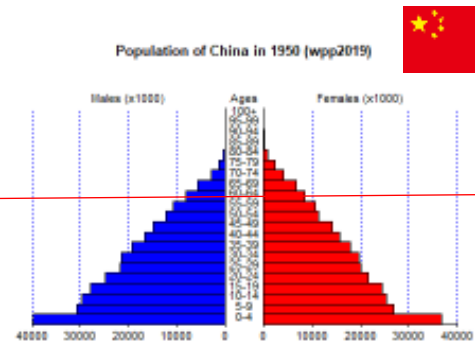
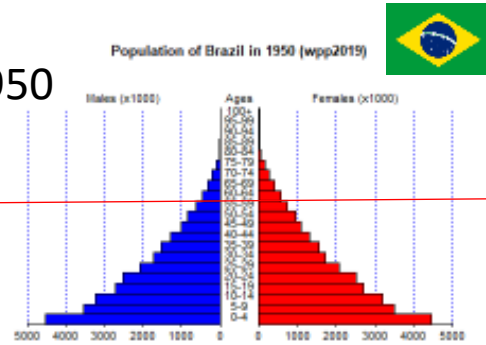
注) 2020年及び2021年は4月1日現在、その他は10月1日現在

2030年 3人に1人が高齢者 (65歳以上)

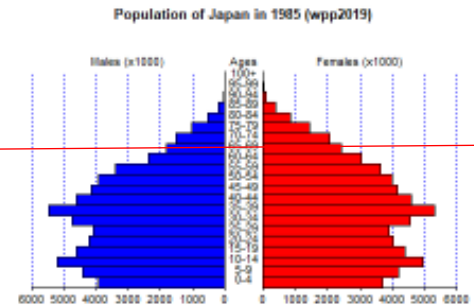
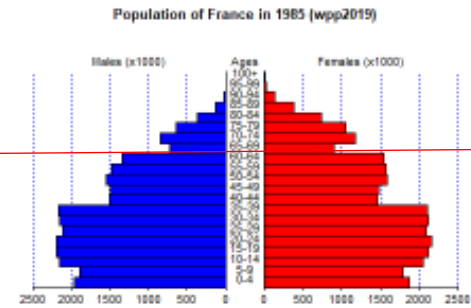
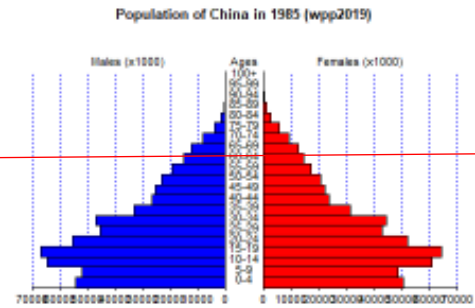
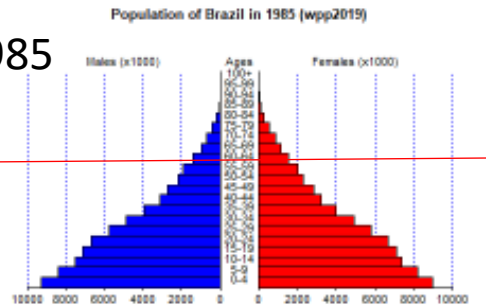


世界の年齢別人口統計

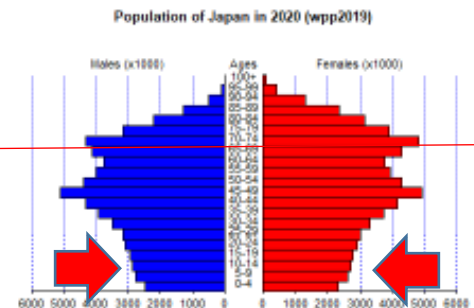
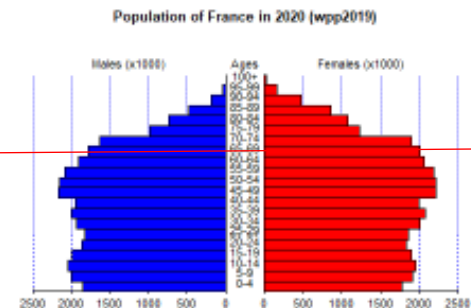
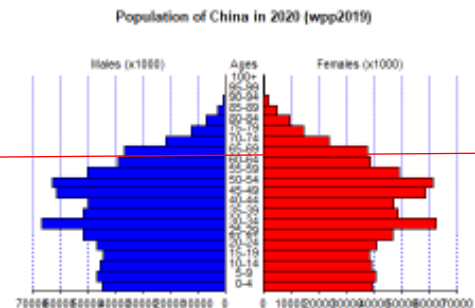
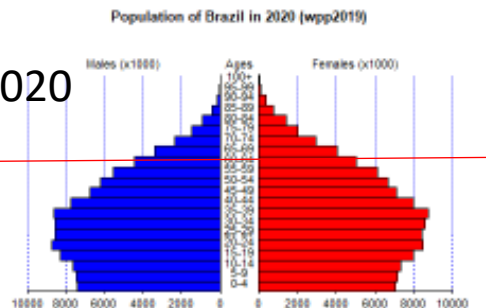
1950



1985

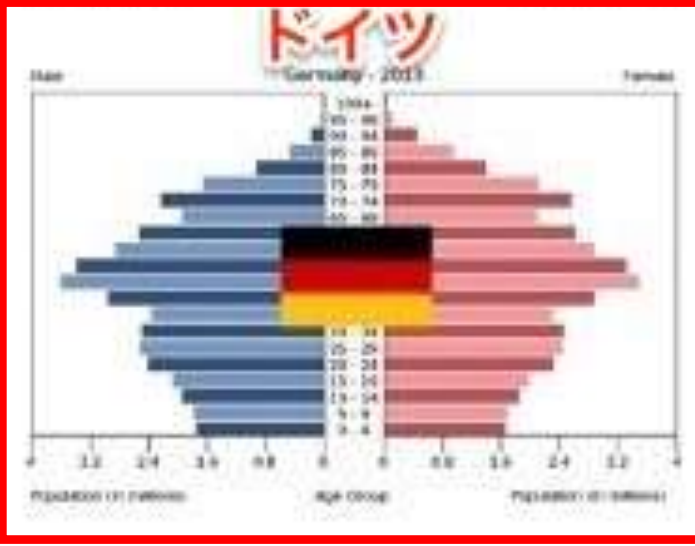
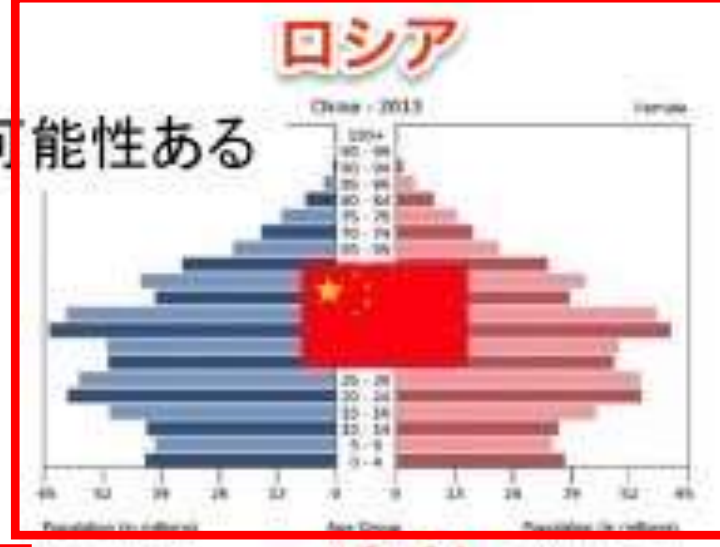
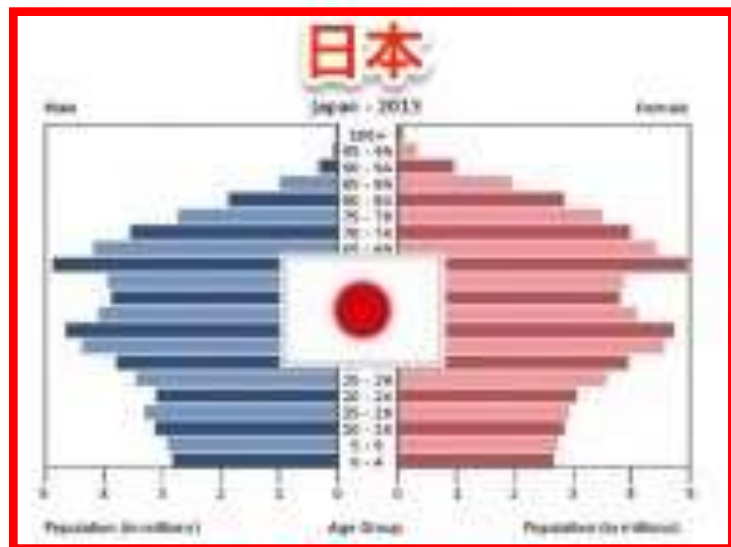


2020



* 日本は超高齢社会、かつ子どもの数が少ない

露・独・日 そっくり



牧野 日和

愛知学院大学 心身科学部 准教授

(470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12 電話:0561-73-1111 内線3435)

言語聴覚士

日本心理学会認定心理士

博士(歯学)

日本言語聴覚士協会 認定言語聴覚士 摂食嚥下障害領域

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

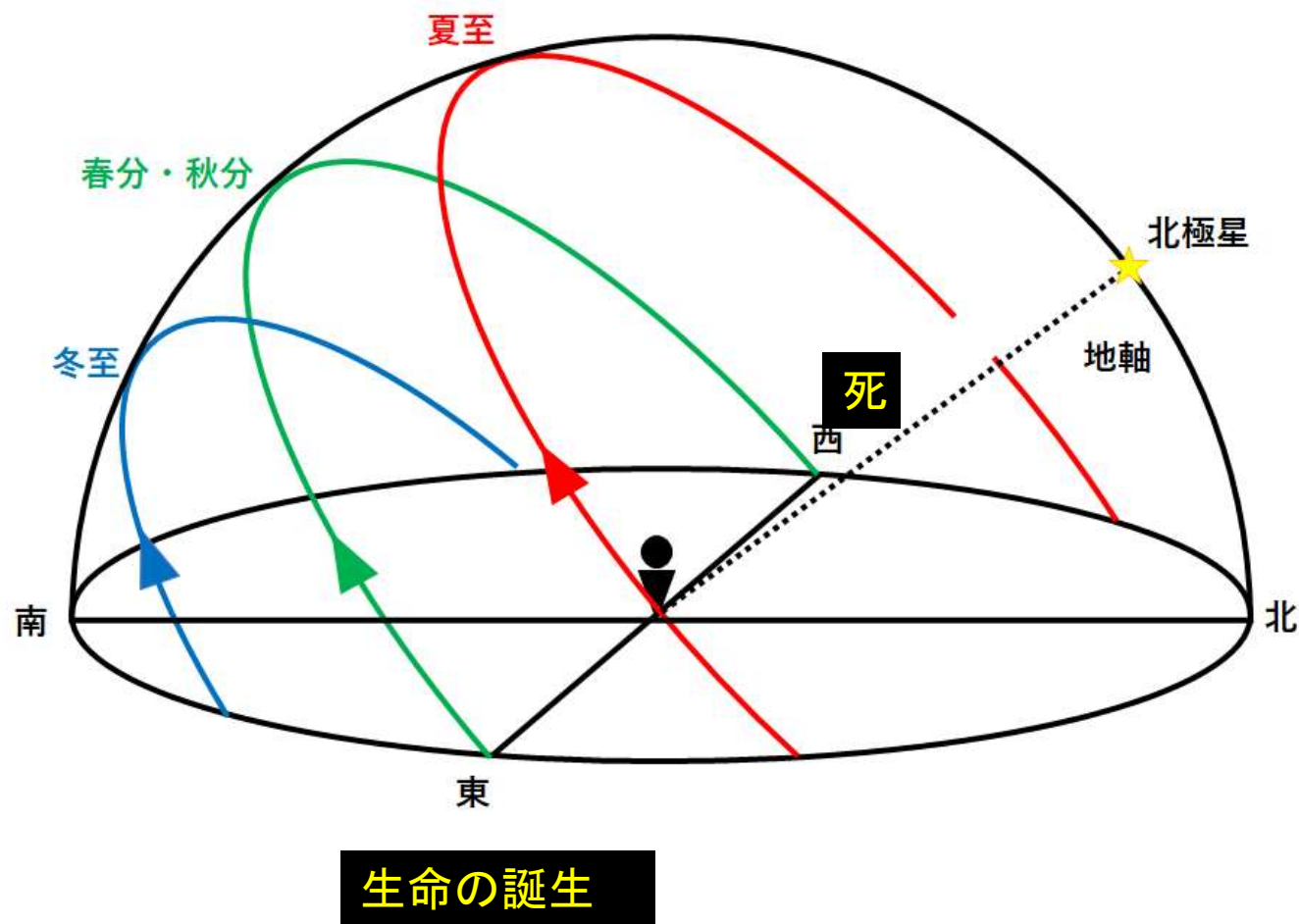
Eメール: hiyori@dpc.agu.ac.jp



AICHI GAKUIN
UNIVERSITY

愛知学院大学

太陽の日内運動



「あの世(黄泉の国)」と「この世」の境界にある
「黄泉比良坂(よもつひらさか) 島根県」



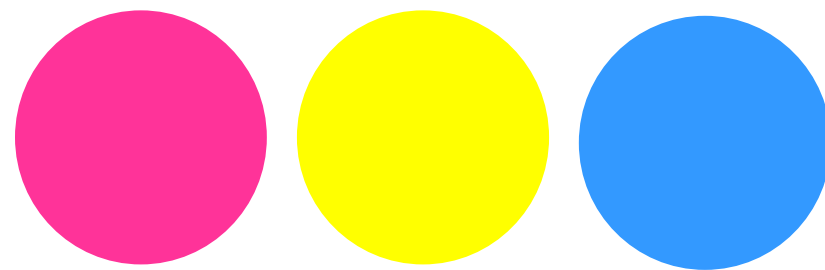
あの世とこの世が交差する場所
「青森の恐山 青森県」

例

ICD-11

国際疾病分類

(治るか死ぬか)



(個別対応)

風邪
病気
怪我

(シンプルな問題)

ICIDH

国際障害分類

(健康・正常をめざす)



(チームでの対応)

脳卒中
糖尿病

ICF

国際生活機能分類

(その人らしく生きるを支える)



(チームでの長期対応・試行錯誤)

認知症
多病

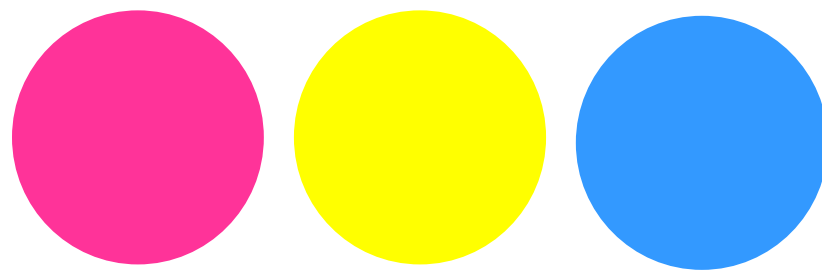
(複雑な問題)

例

ICD-11

国際疾病分類

(治るか死ぬか)



(個別対応)

風邪
病気
怪我

(シンプルな問題)

ICIDH

国際障害分類

(健康・正常をめざす)



(チームでの対応)

脳卒中
糖尿病

ICF

国際生活機能分類

(その人らしく生きるを支える)



(チームでの長期対応・試行錯誤)

認知症
多病

(複雑な問題)

障がいと闘って打ち勝つ



短期間で取り戻せる場合、可能性がある疾患・比較的若い人には向いている

努力して障害された機能を取り戻し、再び食べられるように



薬師如来
(cure)

治る
改善する
維持できる

疾患や症状などには優れている

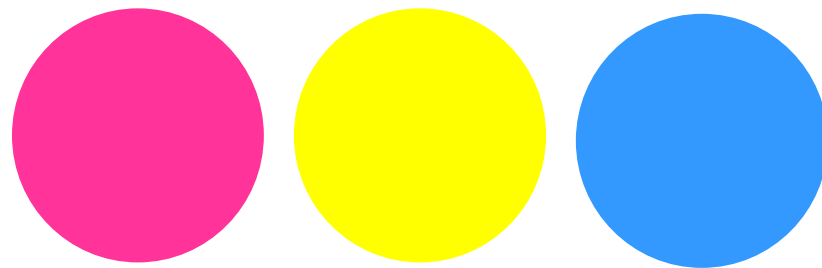
国際障害分類 (ICIDH)

例

ICD-11

国際疾病分類

(治るか死ぬか)



(個別対応)

(シンプルな問題)

風邪
病気
怪我

ICIDH

国際障害分類

(健康・正常をめざす)



(チームでの対応)

脳卒中
糖尿病

ICF

国際生活機能分類

(その人らしく生きるを支える)



(チームでの長期対応・試行錯誤)

(複雑な問題)

認知症
多病

リハビリテーション：キュアとケア

○キュア：機能回復イメージ
障害や低下部位を克服する

（主に脳卒中の急性期・回復期、
軽めの廃用症候群等に有効）



キュア も ケアも
（克服） （支援）

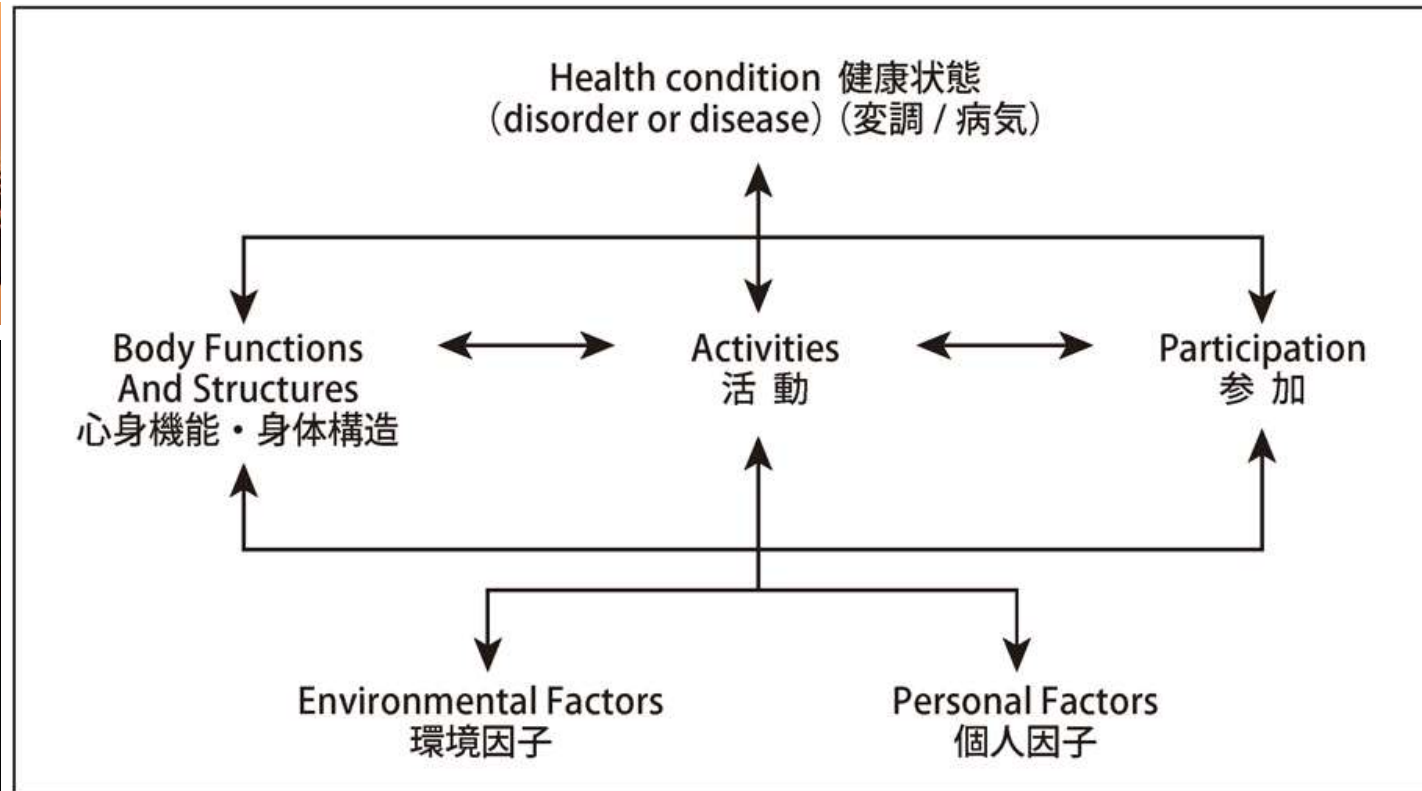
○ケア：障害に寄り添うイメージ
障害を周りがカバーする
（主に脳卒中の維持期、神経変性疾
患、認知症などに有効）

1. 障がいと寄り添って、最期まで自分らしく生きる

長期化する場合、可能性が少ない疾患・余命がわずかな人には向いている
残存機能を活かし、または他の機能で代償し、新しい様式で食べられるように



阿弥陀如来
(care)



超高齢期
ここが変わった

国際生活機能分類(ICF)

治らない
維持できない

疾患や症状などには優れている

2. 食習慣が変わった

超高齢期
ここが変わった

★牧野が臨床現場(広島県庄原市)で施設利用者さんに言われたこと

- 朝御飯多め、夜ご飯少なめ、みそ汁と漬物は欠かせない
- 果汁100%ジュースより、**添加物たっぷり**粉ジュース
- **ビールを飲みたい** 日本茶が好き
- 長生きはせんでもええ **好きなもん食べさせて**
- 量より質(若いころのようにには食べられない)
- 若者の御飯に**興味あり**(毎日しんどい)
- **おやつが好き**(和菓子も洋菓子も)
- 玄米は**つらい時代**を思い出す

素敵なお姉さん: 身体にいいわよー



我慢強い利用者さん: (粉のメロンジュースがええなあ)

朝食メニュー 世代差

20~30代 の朝食メニュー		出現率 ※TI値	出現率の違い (対 60-70代)
1	麦茶	217	4.55倍
2	おにぎり	70	3.98倍
3	ココア	28	3.38倍
4	シリアル・フレーク	109	2.75倍
5	菓子パン・惣菜パン	164	2.47倍
6	ウィンナー・ソーセージ	47	1.83倍
7	牛乳	279	1.40倍
8	乳酸飲料・乳酸菌飲料	44	1.38倍
9	果汁ジュース	26	1.25倍
10	食パン (そのまま)	24	1.25倍

60~70代 の朝食メニュー		出現率 ※TI値	出現率の違い (対 20-30代)
1	日本茶	41	5.71倍
2	生野菜・野菜サラダ	71	3.78倍
3	りんご	29	3.75倍
4	紅茶 (ホット)	40	2.98倍
5	チーズ	21	2.97倍
6	バナナ	101	1.95倍
7	野菜ジュース	41	1.94倍
8	コーヒー (ホット)	284	1.89倍
9	味噌汁	112	1.87倍
10	豆乳	26	1.54倍

※出展：世代間比較して出現率の違いが高いTop10メニュー

京浜、中京、京阪神3エリア計2人以上家族の主家事担当者に行ったアンケート調査(2019年1月~11月)

Copyright© 2020 The Norinchukin Bank All Rights Reserved.

※TI値：1,000食卓あたりの平均出現回数(回)

夕食メニュー 世代差

20～30代 の夕食メニュー		出現率 ※TI値	出現率の違い (対 60-70代)
1	麦茶	446	3.01倍
2	牛乳	31	2.40倍
3	ミネラルウォーター	34	1.75倍
4	焼きそば	20	1.73倍
5	カレーライス	58	1.69倍
6	肉と野菜の炒め物	78	1.48倍
7	から揚げ・竜田揚げ (肉)	39	1.47倍
8	ハンバーグ	27	1.40倍
9	野菜スープ	22	1.40倍
10	つけ焼き・照焼き (肉)	24	1.37倍

60～70代 の夕食メニュー		出現率 ※TI値	出現率の違い (対 20-30代)
1	日本茶	86	5.78倍
2	ビール	31	4.35倍
3	刺身・魚のたたき	25	3.34倍
4	おひたし	29	2.56倍
5	和風煮物 (小さなおかず)	40	2.23倍
6	冷奴	35	2.17倍
7	発泡酒・ビール風味のお酒	66	1.86倍
8	ヨーグルト	26	1.76倍
9	野菜炒め	21	1.67倍
10	ポテトサラダ	24	1.64倍

※出展：世代間比較して出現率の違いが高いTop10メニュー

京浜、中京、京阪神3エリア計2人以上家族の主家事担当者に行ったアンケート調査(2019年1月～11月)

Copyright© 2020 The Norinchukin Bank All Rights Reserved.

※TI値：1,000食卓あたりの平均出現回数(回)

食の役割

ここは
変わらないで

- 健康を維持・増進
- 理想の身体を作る(子どもは成長)
- 疾病や感染等の予防・治療に必要な栄養素を得る
- その人らしさ(食習慣や自律)を維持 ←
- 心の豊かさや満足感をもたらす(QOL) ←
- 人間関係形成やコミュニケーション
- 社会とのつながり(参加)を形成・維持
(家族含む)

出来る限り最期まで！
しかしいつかは出来なくなりますので
その見極め/当事者が納得する(覚悟する)ことが重要だね



3. 未曾有の長生き時代の、新しい生き方

(あの世への切符は老衰ベスト?)

- フレイル/サルコペニア → よぼうとリハビリでアップしましょーね
- 栄養不良 → 高栄養のドリンク飲んで効率よく長生きしましょーね
- 免疫低下 → 誤嚥性肺炎が怖いので食事を止めましょーね
- 認知症 → お薬たっぷり&計算ドリルで認知症を治しましょーね
- 多疾患 → アンドロイドと部品交換しましょーね
- むせ → 窒息してはいけないので液体だけ飲みましょーね



病の軌跡(AD)



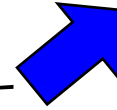
人の生涯発達イメージ

問題がおこり、たとえ乗り越えても
すぐに出来なくなって次の問題がおこる。
この連続 → これが自然な姿である。
(免疫低下して肺炎になることも自然な過程)

点のかかわり → 線(面)のかかわり(馴染みの関係を築く現場スタッフが軸)
* 次々と変容する種々の問題に寄り添う、経過を追う支援



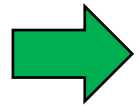
努力をして
健康を目指す



衰えや死に
背を向ける



努力をして
維持を目指す
衰えや死が
みえてくる



心身を癒され
ながらやりた
いことをする

衰えや死に
寄り添う



4. 超高齢社会に必須の、2つの評価法

医療者は演繹法がお好き？

1. 演繹法（エビデンスを重要視）

1) 情報収集…対象者や家族、他職種、他機関から聴取

今以外、此処以外を知る

食歴と病歴および経過

治療やリハビリテーション歴

疾患とその特徴、病期（既往）

日頃の状態

S

2) 観察…自然観察、介入観察

今、此処を知る

S

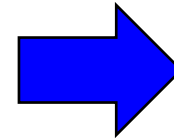
3) 検査…スクリーニング検査、精密検査

客観的な所見を得る

O

* 評価：対象者側の主訴やニーズと、上記で得られた所見等を考察し、予後を推定し、問題点や訓練目標、プログラムを立案する。

A



問題点の抽出

目標の設定（長期・短期）

具体的プログラム^{立案}

P

2. 帰納法（実践結果から考察）

1) 訓練等開始…プログラムを実施

2) 結果を考察（再評価）

3) プログラムを再考

P

D

C

A



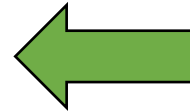
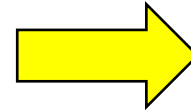
演繹法と帰納法

例. レビー小体型認知症って、
一般的に早期より不顕性誤嚥
が始まるよね～



演繹的手法を用いた科学的介入
(エビデンスを重要視)

学問



臨床

医師・歯科医師・STが
得意とする(短時間で科学的根
拠を用いて…)

帰納的手法を用いた試行錯誤的介入
(患者の変容に機敏に対応)

現場スタッフが
得意とする(経過を追う)

例. Aさんって、いきなり食べる
よりも、調理場面をお見せする
と口が開くよね～

5. 家族の心の支え方

エビデンス ベースド ナラティブ



デザイナーさんのためのweb素材 写真/画像のデータの無料ダウンロードサイト

ナラティブ ベースド エビデンス

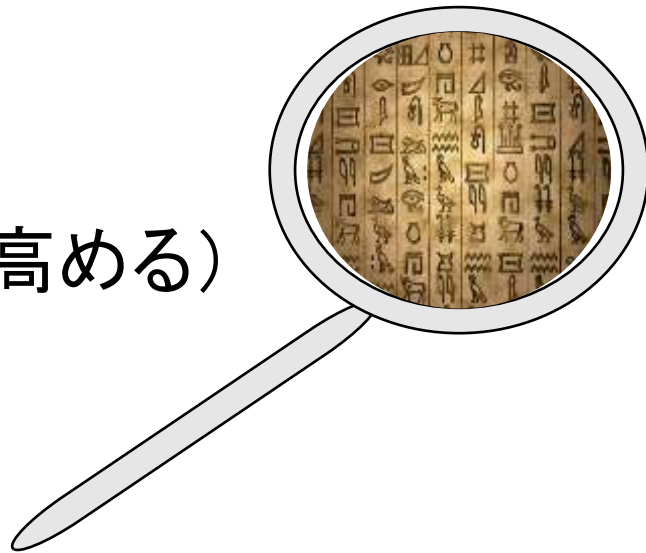
人生会議：予後予測をもとにどのような過程を描くかを検討(2019)

人生最終段階：患者の意向が優先される(厚生労働省2018)

リスク アセスメント

命の「量」を重んじる
(侵襲性を抑え、抵抗力を高める)

- ・誤嚥を避ける
- ・呼吸を乱さない
- ・栄養状態改善を先行させる
- ・体調の良い時にトライする



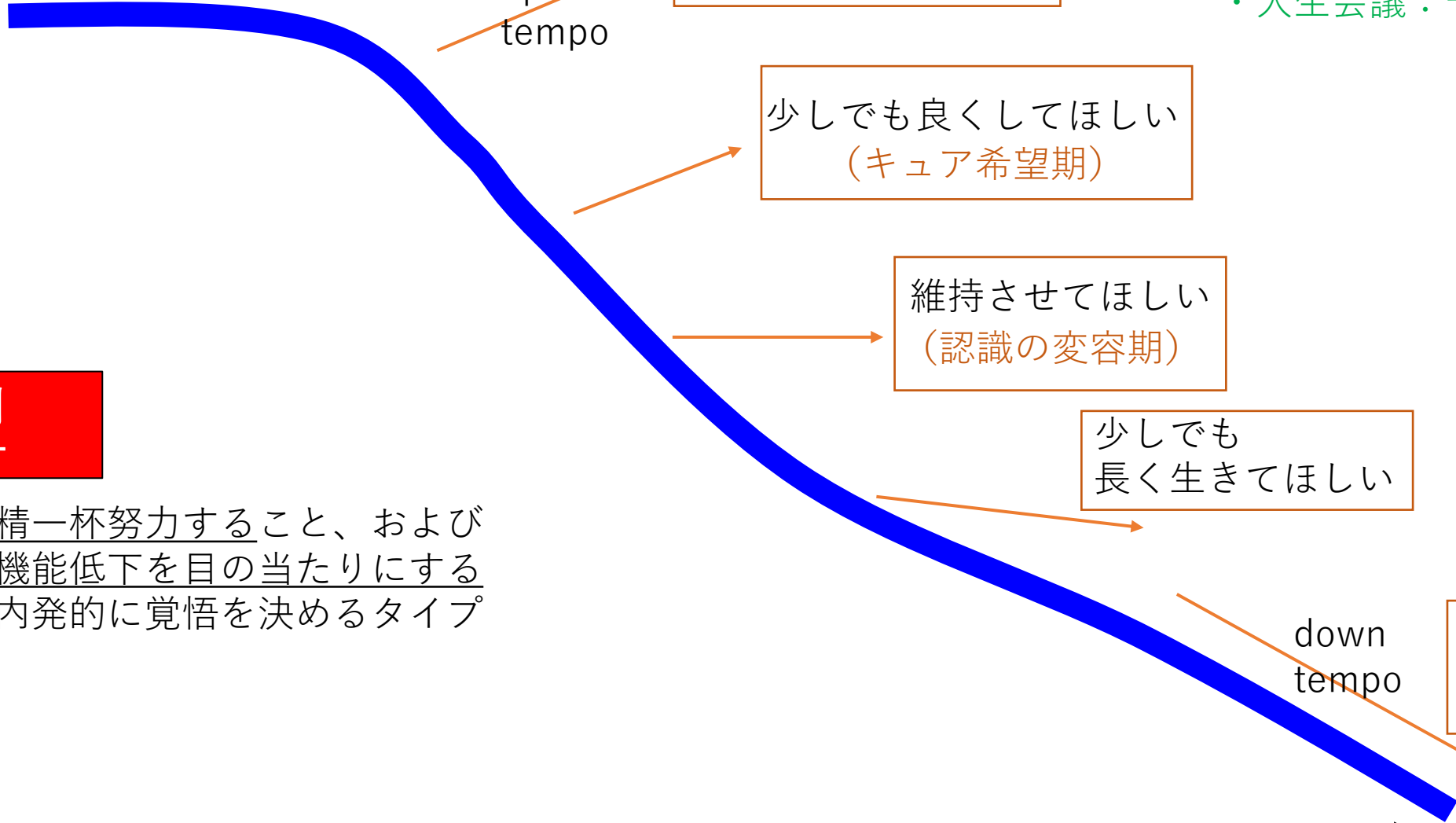
命の「質」を重んじる
(有終の美を実現させる)

- ・食べたい飲食物を摂る
- ・自分史、家族史に沿った
相応しい最期
- ・対象者の自己超越感を支える
- ・家族の満足を支える

クオリティー アセスメント

出来なくなる対象者と、家族の心理過程（支援者への期待）

対象者の状態



- 支援者：
- ・精一杯のキュアとケア
 - ・人生会議：予後と支援の検討

A型

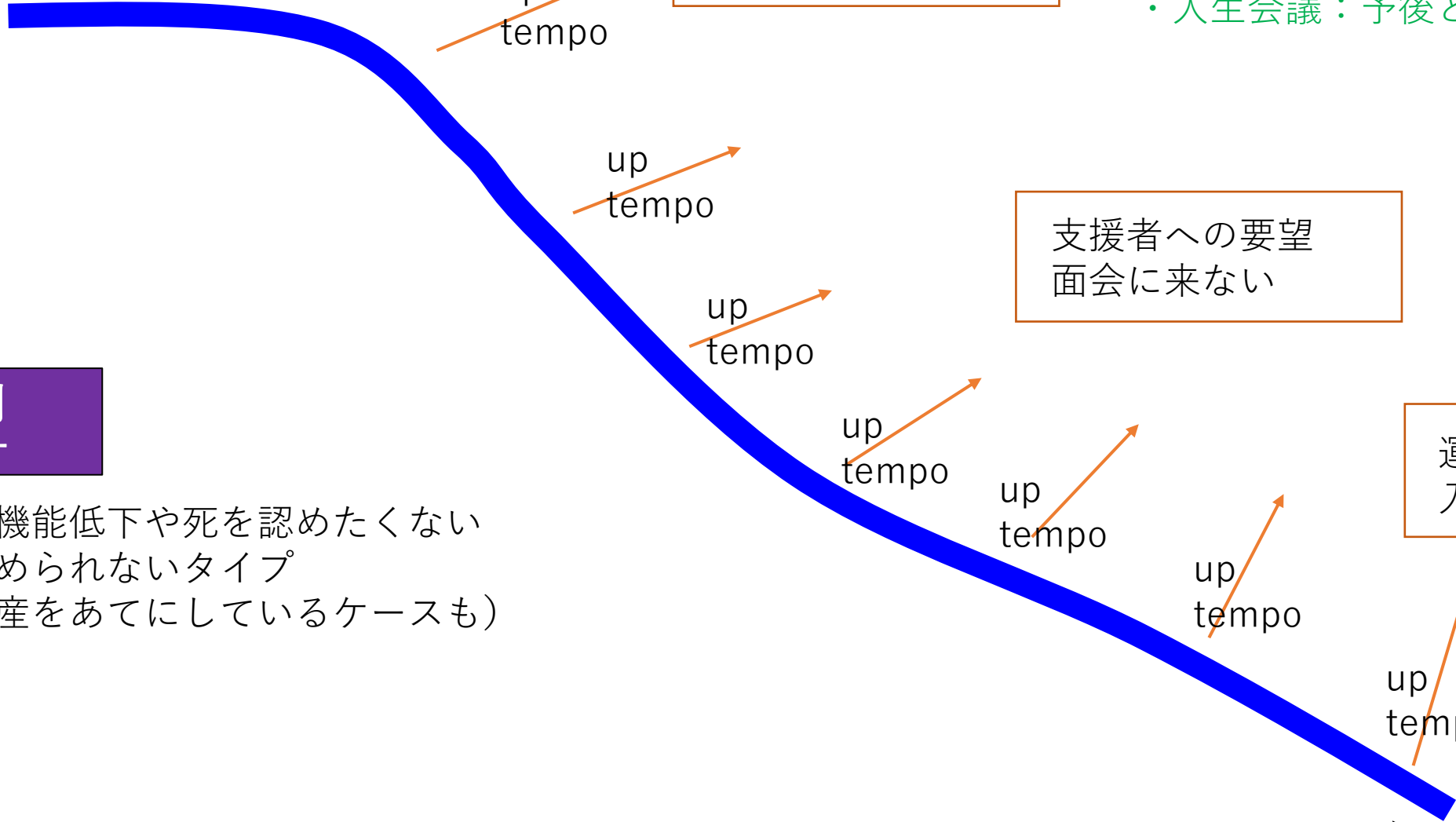
支援者が精一杯努力すること、および対象者の機能低下を目の当たりにすることで、内発的に覚悟を決めるタイプ

数年～10年以上？

good deathへ

出来なくなる対象者と、家族の心理過程（支援者への期待）

対象者の状態



元気にしてもらいたい

- 支援者：
- ・ 精一杯のキュアとケア
 - ・ 人生会議：予後と支援の検討

支援者への要望
面会に来ない

運命を受け
入れられず荒れる

B型

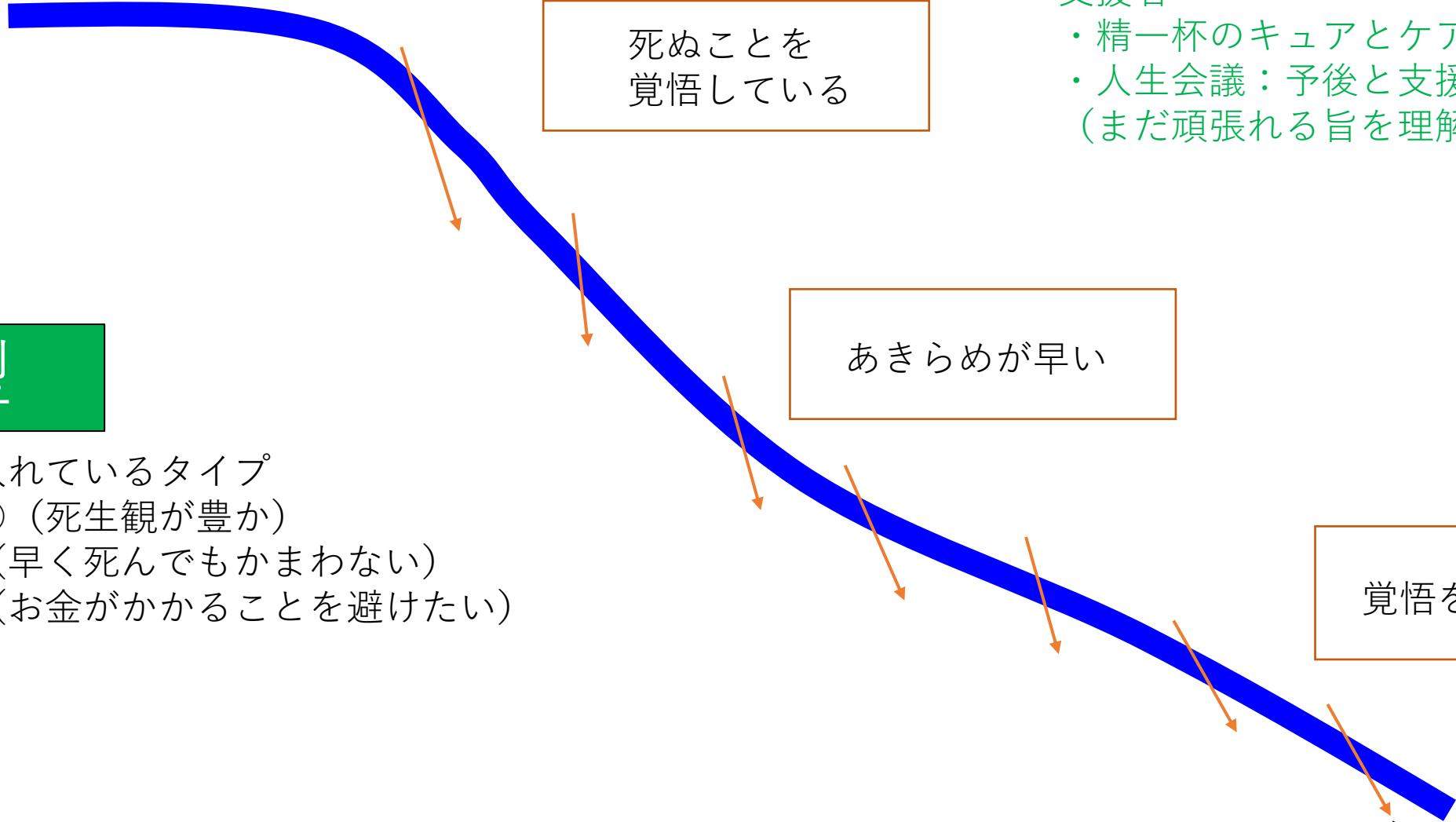
対象者の機能低下や死を認めたくない
覚悟を決められないタイプ
(親の遺産をあてにしているケースも)

数年～10年以上？

bad death〜

出来なくなる対象者と、家族の心理過程（支援者への期待）

対象者の状態



支援者：

- ・ 精一杯のキュアとケア
- ・ 人生会議：予後と支援の検討
(まだ頑張れる旨を理解してもらう)

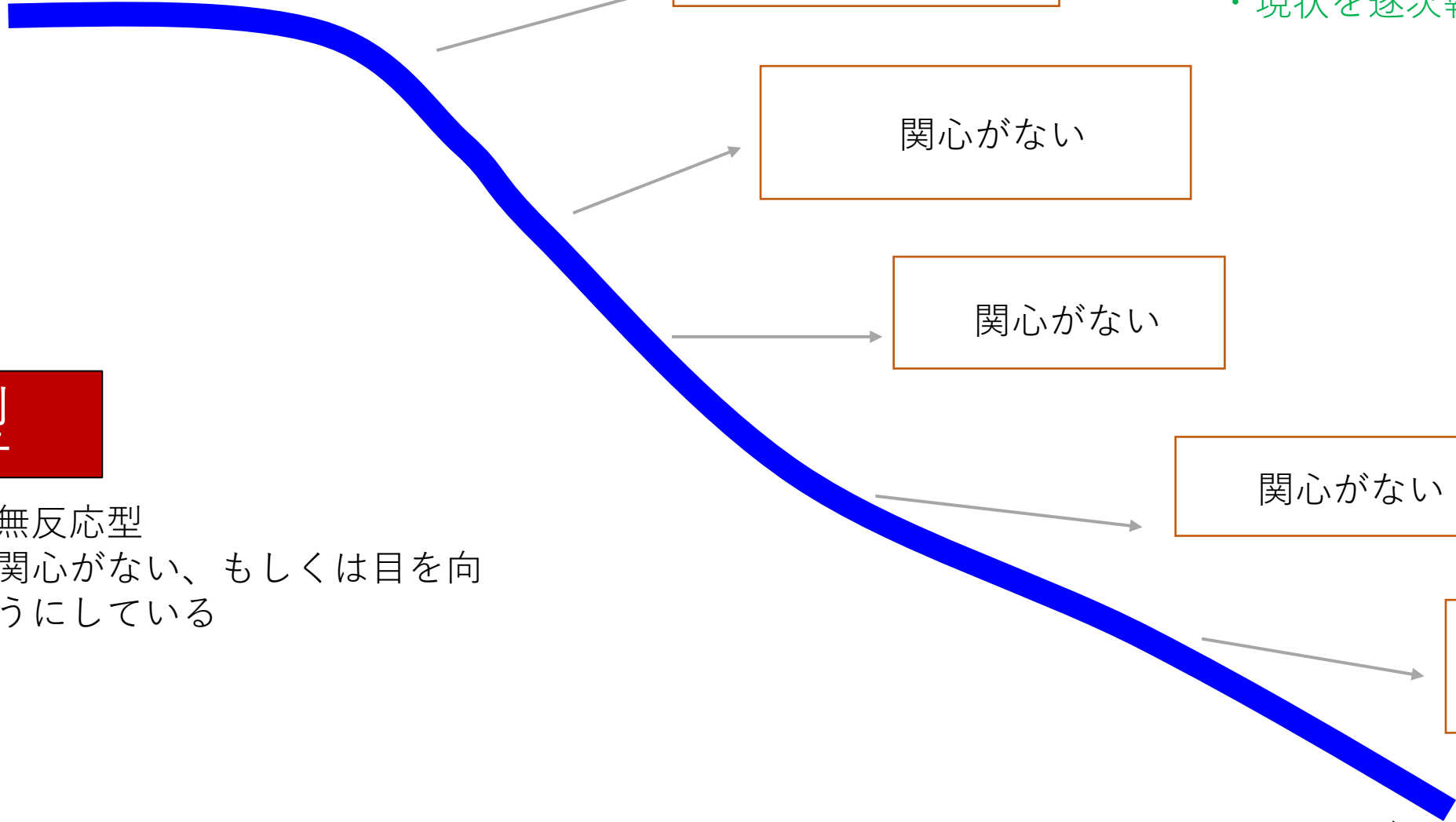
C型

死を受け入れているタイプ

- ・ 達観型◎（死生観が豊か）
- ・ 怨恨型（早く死んでもかまわない）
- ・ 貧困型（お金がかかることを避けたい）

出来なくなる対象者と、家族の心理過程（支援者への期待）

対象者の状態



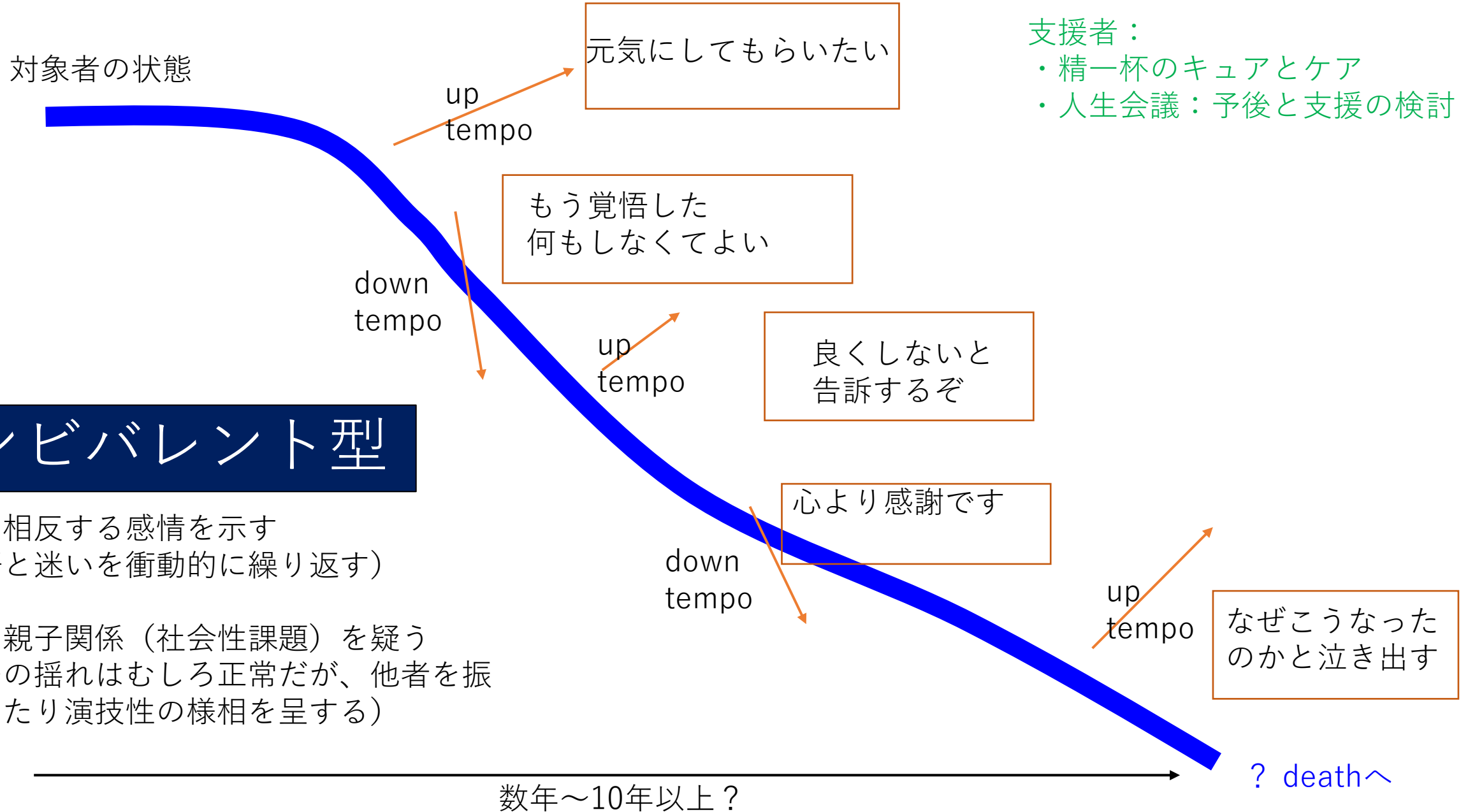
支援者：
・人生会議提案
・現状を逐次報告

D型

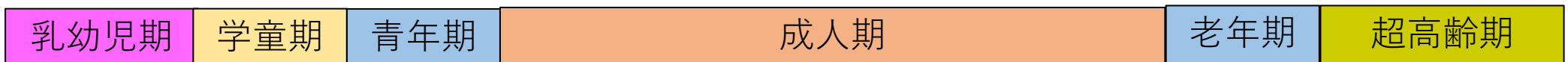
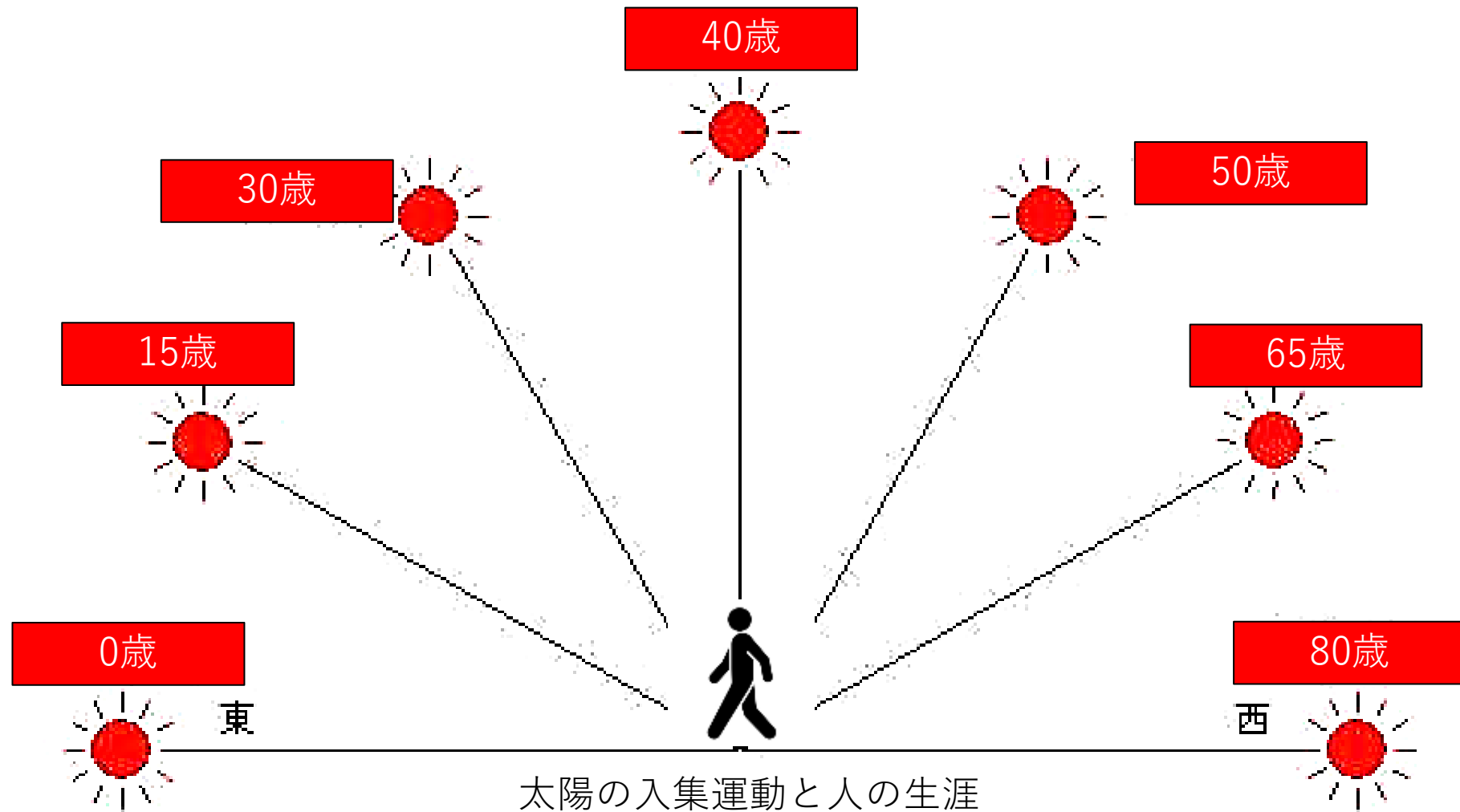
無関心・無反応型
対象者に関心がない、もしくは目を向けないようにしている

数年～10年以上？

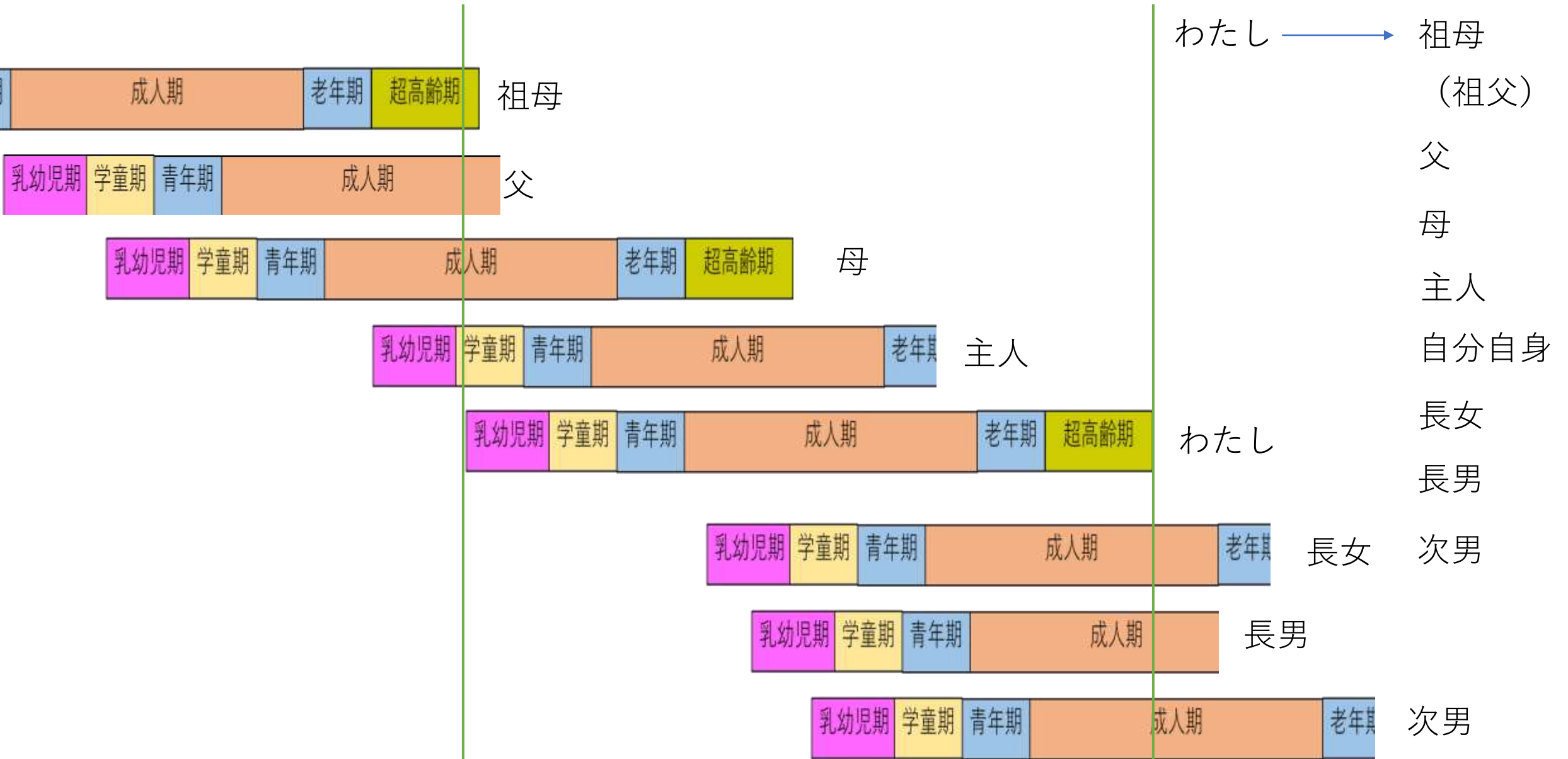
出来なくなる対象者と、家族の心理過程（支援者への期待）



6. 老いて深まる 生と死の真理



他者との間に「わたし」が築かれる



7. 死や老いから学ぶもの

- 人の命の儚さ → 一日一日を有意義に
- 自分は残りの人生をどう生きるべきか
→ 限られた時間を悔いなきことをやろう
- 今やるべきことは何か → 無駄なことや考え・悩みをやめる
- 子ども/孫の（その後の）人生をどう支えるべきか
→ 後進に自身の経験を語り、生き方を諭したくなる
- 祖先が自分にしてくれたことに気が付く
→ 先人が今の自分を育んだことを知り、今度は後進に還す



食べさせる
Iさん:90歳

戸谷医院
広島県庄原市

- 年齢90歳 女性
- 80歳以降、多発性脳梗塞により活動性徐々に低下。
- 89歳、再度脳梗塞により嚥下反射不良。
- 1年以上、経口摂取禁止している。



- 我が強く、口がたつ。
- 経口摂取を強く望み、何度もアセスメントを要求。
- 家族(子ども、孫)に心より慕われている。

飲み込みのタイミングのズレ

- ・多発性脳梗塞により口の感覚/運動が低下
- ・食物を移送させられず、食塊形成出来ず
(口腔内保持も不良)
- ・のど(咽頭)の感覚も低下
(嚥下反射が低下)
- ・むせのない誤嚥がある

摂食・嚥下の解剖生理
Anatomy and physiology of feeding and swallowing

1.咀嚼 - 嚥下

1.mastication - swallowing



監修：愛知学院大学 牧野日和

イラスト：群青亜鉛

<http://gunjoaen.com>

私の命じゃ 食べさせろ



- 間接訓練にも嚥下反射惹起されず
- 牧野を呼び、シャツをわし掴み
「私の命じゃ食べさせろ」とシャツを引きちぎった

- 家族と面談するも、誤嚥のリスクを拒む
- さんがシャツを引きちぎった話をしたところ、家族は揺れた
- 子ども、孫3人がその場で泣いた
- 家族「母さんの命、食べさせてやってくれ」

お食い締め開始

- タンパク質の少ないゼリー「0j」摂取
(誤嚥量を減らす目的で一口量を制限)
- 聴診器では誤嚥見つけられず
- さん、顔をくしゃくしゃにして喜ぶ
- 子ども、孫3人も喜ぶ、孫が泣く
(さん、「大丈夫じゃ。泣くな」と言いながら泣く)
- さんの希望強く、「1j」を経て、「2」へ



誤嚥/肺炎を繰り返す

- 「2」摂取 数週間で誤嚥性肺炎に
(いったん絶食)
- スタッフと、さん、家族で話し合う
(経口摂取を続けるか、否か → 経口摂取継続を希望)
- 再度、「0j」からスタート
- 問題がないことを確認しながら、「1j」を経て、「2」へ。
- 再び 数週間で誤嚥性肺炎をおこす



「1j」で妥協する

- 4回目のトライも誤嚥性肺炎に
- さんはもう「1j」で良いと妥協
- 家族「何故？」
- さん「肺炎の度に体力がなくなるから、もうええ」
- さん、牧野にのみ本音を話す
「熱が出ると孫らが悲しむから、もうええよ」



Iさん死去

- コーヒーゼリー、プリン、卵豆腐、湯豆腐...
- Iさんなりに経口摂取を楽しんだ
- 家族は面会の度、差し入れを持ってきた



- Iさん死去 91歳
- Iさんが「みなを悲しませないように」と思って「2」をあきらめたことを知り、家族は泣いた
(Iさんのやさしさに触れ、自分らが愛されていたことを実感)

なんでわしだけ食事が無いんじゃ
Yさん:88歳

在宅老人保健施設 愛生苑
広島県庄原市

元警察官のYさん



- Yさん88歳
- 80歳より多発性脳梗塞、そして認知症を患う
- 87歳の脳幹梗塞(延髄)と認知症により絶食
(鼻からの経管栄養)

- 絶食が納得できず病院で大暴れ
- 病院を追い出されるようにして老人保健施設へ入所
(在宅にはとても帰せないと86歳の妻...老老介護)
- 施設でも大暴れ(職員や他の利用者に暴力)、薬投与？

暴れるのは食事時間のみ



- 大暴れの理由が明らかに
- 他の利用者には食事が出るが 自分には出ないのは差別 !
- そのほかは正義感と使命感あふれる 警察官気質
- 医師は、薬で安定させるのはどうしようもない時のみと決断
- 家族と合議の上、タンパク質の少ない「Oj」摂取へ。
(妻はリスク説明に反応したが、夫を追い出されては困る)
- Yさん、「Oj」摂取で涙を流した
「ありがとう、ありがとう」

「0j」から「1j」へ

- 「0j」でおだやかだったのは一週間
(バイタルサインや肺の聴診では異常なかった)
- 「0j」に飽きて、「なんでこんなものばかり食べさせるんだ」
- 家族と相談の上、タンパク質を含むゼリー「1j」へ
- 再度、「ありがとう、ありがとう」

- 一週間後、誤嚥性肺炎になる
(「0j」「1j」とともに誤嚥していたと考えられた)



誤嚥性肺炎を繰り返す そして

- 体調改善後、家族の申し出により、「0j」再開
- ふたたび「1j」に食形態を上げたところで誤嚥性肺炎
- 家族は、Yさんが落ち着いて暮らせ、
覚醒を落とす薬も投与しない支援を希望



- 「0j」⇒「1j」⇒誤嚥性肺炎⇒体調回復を繰り返す、とうとう数年後に死去

(それから10年後、妻もここでお世話になりたいと入所した)

嫁のための大仕事
Oさん:89歳



老人保健施設 愛生苑
広島県庄原市

- Oさん、年齢90歳 女性
 - 肝臓がんの末期
 - みとり期との宣告を受ける
-

- もともと恐ろしい女性だった
- 50歳代で、息子と嫁と折り合いつかず
- 息子と嫁、Oさんに近寄らず
- Oさん80歳代で脳梗塞で入院
- 嫁はこわごわ姑の面会に来るようになった
(息子はついに葬式まで現れず)



- 嫁との間には、本当の母娘以上の絆が生まれていた
- Oさん、みとり期にはいる

- 仰向けになったまま意識が朦朧としているOさん
- 嫁は大泣き、最期に「大トロ」を食べさせる約束をしたとのこと
- 肩で息をするOさん、嫁の願いを聞いて覚醒した
- Oさんは死期を悟っていた
- 大トロを食べように、しっかりうなずいた。



お食い締め、Oさんの最期の大仕事

- 座位にした瞬間、顔が変わった(食べる気満々)
- 水 ➡ 大トロ摂取へ
- 一口食べてあとは嫁に食べる都合図
- この後、Oさんは一週間で亡くなった
- 嫁は葬式で胸を張って、私に挨拶をした
(息子はバツが悪そうだった)



「余命1カ月の小学生の娘にプリンを食べさせたい」医師が危険を承知で母の願いを許したワケ

9/15(水) 9:16 配信 914



PRESIDENT Online

■家族に見守られながらの「お食い締め」

「お食い締め」という実践がある。人生の最期にさしかかって、自由にものを食べることがついに難しくなってきたとき、家族に見守られながら、本人がとりわけ食べたいものを食べるという行為だ。先のお寿司の例もその一種といえるだろう。

お食い締めを実践してきた言語聴覚士である牧野日和の本から、もうひとつ例を引く(牧野日和『最期まで口から食べるために2』、52頁、〔…〕は中略を表す)。

裕子ちゃんは小学3年生のときに神経難病にかかり、胃ろうを造設し禁食になりました。裕子ちゃんは食べたいと訴えましたが、お母さんは「元気になったら食べようね」とごまかしました。そして、裕子ちゃんはみるみるうちに身体機能が低下。胃ろうのまま約2年間過ごしました。〔…〕裕子ちゃんの身体はやせ細り、全身の筋力が衰え、ぐったりとしています。余命1カ月となり、お母さんは焦りました。「また食べようね」とごまかしたことを罪悪感として背負い続けてきたからです。お母さんは訪れた私に、なんとかして最期に口から食べさせてあげたいと懇願しました。

■余命1カ月の娘は奇跡的に生気を取り戻した



YAHOO! ショッピング JAPAN

アクセスランキング (経済総合)

1 難病の愛猫が回復 聞こえてきたのは、治療費のため手放したスーブラの排気音…買い主から届いたサプライズ
withnews 9/21(火) 7:00



2 なぜ人は会社をやめるのか? 2つのキーワードで職場のメカニクス



「余命1カ月の小学生の娘にプリンを食べさせたい」医師が危険を承知で母の願いを許したワケ

9/15(水) 9:16配信

■家族に見守られながらの「お食い締め」

「お食い締め」という実践がある。人生の最期にさしかかって、自由にものを食べることがついに難しくなってきたとき、家族に見守られながら、本人がとりわけ食べたいものを食べるという行為だ。先のお寿司の例もその一種といえるだろう。

お食い締めを実践してきた言語聴覚士である牧野日和の本から、もうひとつ例を引く(牧野日和『最期まで口から食べるために2』、52頁、〔…〕は中略を表す)。

裕子ちゃんは小学3年生のときに神経難病にかかり、胃ろうを造設し禁食になりました。裕子ちゃんは食べたいと訴えましたが、お母さんは「元気になったら食べようね」とごまかしました。そして、裕子ちゃんはみるみるうちに身体機能が低下。胃ろうのまま約2年間過ごしました。〔…〕裕子ちゃんの身体はやせ細り、全身の筋力が衰え、ぐったりとしています。余命1カ月となり、お母さんは焦りました。「また食べようね」とごまかしたことを罪悪感として背負い続けてきたからです。お母さんは訪れた私に、なんとかして最期に口から食べさせてあげたいと懇願しました。

■余命1カ月の娘は奇跡的に 生氣を取り戻した

裕子ちゃんの「食べたい」という願いは医療的な判断によって妨げられてきた。だが、死が近づいてきたとき、そのことに母親は「罪悪感」を感じる。

それゆえ、願いを叶えたいと懇願する。母親の懇願は、子どもが食に対して抱いた〈小さな願い〉が、本質的な重要性を持つとう直感(確信)に由来するのだろう。

誤嚥性肺炎のリスクがある際には、通常はタンパク質を食べることは避ける。「すぐに命を落とすかもしれません」と牧野は母親に告げた。しかし、主治医は母親の熱望に背中を押され、母親が食べさせたいと願った手料理のプリンを食べさせることに決める。続く場面を引用する(同、55頁)。

二口めのプリンも一口め同様、のどの奥にゆっくりと落ちていくのが見えました。しかし、すぐには嚥下反射が起きません。「誤嚥したのでは！」と危惧した瞬間です。裕子ちゃんののどがゴクンと反応しました。様子を見守っていたお母さんは、「食べた、食べた！」と言って号泣しました。そして、「裕子もありがとうって言ってます」と言うのです。その言葉で私は裕子ちゃんを見て、魂が震えました。なんと、無反応、無表情だった裕子ちゃんの頬を大粒の涙が大量に流れていたのです。母の言うように裕子ちゃんは食べたかったのです。

おすすめ順 | 新着順 | 古い順 | そう思う順

マンマ・ミーア | 9/15(水) 9:41 ...

「これできて嬉しかった」と旅立つのか
「あれがしたかったのに…」と旅立つのか

例えばそれで1日や2日寿命が縮んだとしても、前者でありたいし、前者にしてあげたいと思う

返信 39 15372 551

ljh***** | 9/15(水) 9:29 ...

うちの老犬が衰弱で一度しにかけていて、「もう最期なら、好きなもん食ったらええやん!」、とついぞあげたことのない私がいつも食べてるおかずをあげた。すると数日で快復し、今もまだ元気。それからは、「お互い太く短く生きようぜ!」、をモットーにしている。細く長くアンハッピーに生きるより、太く短くハッピーに生きたい。

返信 93 14697 1175

ima***** | 9/15(水) 9:21 ...

最期に近付いていることをわかった上で
精一杯楽しませたいと思いました
末期になっちゃつと数日縮んだところで苦しみを減らすことができましたと思えます

返信 12 7567 464

mbh***** | 9/15(水) 9:43 ...

病院看護師時代。食べることが生き甲斐と話していた患者さん。誤嚥リスク承知で亡くなる直前まで大好きなアイス食べていました。あの嬉しそうな顔忘れない。終末期のお酒大好きな患者さん。病院内はもちろん禁酒だったけど、医師がこっそりいいじゃない! といって、毎日少量のビールを飲んでもらいました。家族も患者さんもみんな良い顔で過ごして亡くなりました。口から食べることの喜びやその人らしく生きることの大切さを学びました

返信 23 5229 234

zfy***** | 9/15(水) 9:48 ...

間もなく父の13回忌法要の日が来ます。
肺がんと肝臓がんを併発しましたが
死の前まで劇しい痛みは少なかったです。

ゴルフ練習場 ¥2,4

コメントラン

1 マクのお祝い日本朝日新聞 215件/時

2 金融不況の時事 185件/時

3 塩野義来年度産経新聞 135件/時

4 自民総選挙の東洋経済 132件/時

5 米、日米を撤廃品目毎日新聞 119件/時

PR コンビニ知るクレー

ANA

9/23まで国内航

TIA

ktz***** | 9/15(水) 10:10 ...

余命2ヶ月と言われた友人の子供が
ディズニーに行ったことがないから、いつてみたいといっていたので、みんなで遊びにいった。
楽しそうだったし、痛くてはば動けないのに、首を動かして楽しそうにしていたのを忘れません。
たのしかった! 行けて嬉しかった! と言っていました。ありがとうございました。

それから2ヶ月後に亡くなってしまいました。

朝からこの記事を読んで、当時を思い出して涙が止まりません。

返信 13 3579 154

z***** | 9/15(水) 9:36 ...

病室で逝ってしまった父を思い出します。食べ物は食べられなかったけど、家に帰りたがりたがりと言っていました。何かあったときにすぐ対処できるようにと母は入院を希望し、結局そのまま家に帰ることはできませんでした。コロナ禍なのでお見舞いに行くことも叶わず、病室で1人何を思って過ごしていたのか。それを思うと今だに胸が痛くて痛くて締め付けられます。

返信 15 3381 222

klr***** | 9/15(水) 9:32 ...

朝から涙が止まらない...

プリン、食べたかったよねー
食べられて良かったねー

大人でも「食べたいものを我慢させる」っていうのは辛いのに。
「元気になったら食べようね」なんて(泣)
本人の辛さも想像を絶するけど、ご家族の辛さも計り知れない。

我が家に「これを俺の死水にしてくれ」と父(現在80歳、大病を患ってかれこれ8年禁酒中)から預かっている高級ウイスキーがある。
生きている間に飲ませてあげた方がいいのかな...もう80だし...
そもそもあのウイスキー、購入してから10年は経ってるけど、飲めるのかな(汗)

1 自民総裁選で急浮上の大逆転シナリオ 東洋経済オンライン 9/

2 「ワクチン先進国」まで、いま本当に起きすぎる現実 現代ビジネス 9/22(水)

3 富士通の元半導体部長語る、「日の丸半導体たこれだけの理由」 東洋経済オンライン 9/

4 中国の若者は「すぐに...日本人の多くが知らない「一つの質問」 幻冬舎ゴールドオンラ 9/21(火) 15:46

5 「年金ないから」804万円の家賃滞納...退去を激怒させたワケ【記録】 幻冬舎ゴールドオンラ 9/22(水) 10:01

PR 世界一周の船旅 パシフィックワールド号 株式会社ジャパングレ

おすすめの有料記事

PayPay残高 T-Pi

「かんぽ生命」より恐ろしい銀行の時限爆弾 ゆう紙くずになる可能性も デイリー新潮 9/17(金) 10:0

眞子さま 結婚へ「小室さしい男性です」真剣な訴え 官は.../本誌取材班 記事【全文公開】 文春オンライン 9/10(金) 6:

「官総理の辞任表明」でバを更新した日本株...上昇機を待つか【日経金融ア

「むせ込み」「誤嚥性肺炎」を繰り返す 食形態の変更のタイミング

最期まで

口から

食べるために 1



牧野日和 博士(歯学)・言語聴覚士

胃ろうから経口摂取を始める・看取り期を支えるお食い締め支援

最期まで

口から

食べるために 2



牧野日和 博士(歯学)・言語聴覚士

超高齢社会を意識していますか？

いろいろ変えないといけない食支援



photoAC



愛知学院大学
牧野日和

